

日野川の源流と流域を守る会

会報

しのがわ

第37号



【日野川フォトコンテスト2019作品】

題名：スプラッシュ

撮影者：中村真生子氏

= 目次 =

- 藤原さん(自然保護監視員)と行く 2~3
日野川源流探訪
- 森林整備体験&こだわりの日南トマト栽培視察 4
+若杉山探訪
- 日野川散歩 5
- 会員の部屋..... 6
- 【速報】日野川フォトコンテスト2020審査結果 7
日野川フォトコンテスト作品展
- ご案内、会員募集 8

自然保護監視員 藤原さんと行く 日野川源流探訪



私たちの生活を支えてくれている「日野川」。その「日野川」の源地である日野川源流の碑を目指す日野川源流探訪は、例年当会のメイン事業として実施しています。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により事業実施が出来なかったため、皆様に少しでも日野川源流探訪の様子を感じていただければと、自然保護監視員の藤原さんに紙上で案内してもらいます。



何てことだ……!!
しょっぱなから、難所じゃないですか…ですが、20代の私は大丈夫!!



日野川源流探訪は、やはりこの雄大な自然を感じられるのが、醍醐味ですね!(^^)!



和名：オタカラコウ
タカラコウとは龍腦香のことで、根茎の香りに由来する。
オ(雄)タカラコウ
メ(雌)タカラコウ



せせらぎの音で癒される♪
また若返ってしまった(^o^)



マイナスイオンが凄い~♪
またまた、若返ってしまったわ!(^_^)v



和名：コバナフユイチゴ
(別名 マルバフユイチゴ)
甘酸っぱいですが、生食可



和名：ミヤマガズミ
9~10月に赤く熟す



ゴール

何と厳かなことでしょう!!
その姿がたまりません(^^)
碑の周辺が荒れてきたため、約1ヵ月の日数をかけて今年の6月に碑の周辺整備をしました。



源流の碑まであと少し!!
まだまだ大丈夫……

和名：キバナアキギリ
長いめしべが目立ちます。
唇型の花の中央にある仮雄しべの仕組みが面白いです。



ロープに掴まって登っていきますよ。
日野川源流探訪は、大人のアスレチックです(^_^)v



【歴史】
炭焼きをしていた形跡があります。
たたらの名残でしょうか!?
歴史も感じられます。



和名：アケボノソウ
和名は、花びらの斑点を夜明の星空に見立てたもの

スタート



皆さん! 私について来て下さい!!
目指すは、新しく周辺整備をした日野川源流の碑♪
※場所：日南町新屋



和名：シラネセンキュウ
山の谷間に多く生育



和名：ツルリンドウ果実
赤い果実は花より目立つ



和名：ツルリンドウ花
茎は細長く、地面や草木に絡んで長さ40~80cmになる



プロフィール

名前：藤原文子
年齢：気分は20代♪
出身地：鳥取県米子市
趣味：蛾と幼虫を探して、写真を撮ること
自然大好き歴：50年以上

日野川源流探訪の魅力

アッスダウンのある道中1時間30分の中で、大変魅力的な動植物が観られること

活動
レポート

森林整備体験&こだわりの日南トマト栽培視察 +若杉山探訪

R2.8.2 場所:日南町丸山~神福~豊栄

日野川の源流と流域を守る会 イベント第一弾!

8月2日(日) 21名のご参加をいただき、好天の中①森林整備体験②日南トマト栽培視察③若杉山探訪を実施しました。

①森林整備体験

日野川の源流と流域を守る会では、美しい日野川の流れるため、下草刈りや間伐体験を通じて水源涵養林の保全を行っています。

今回は、日南町丸山の標高600mの町有林で植林されたスギの下草刈り体験を行いました。



参加者の声
・木を育てることは、こんなに手がかり大変だとよく理解できました。
・この森林が、水を貯え、日野川に水を供給しているので守っていきたい。
・森林浴の中、気持ちいい汗を流すことが楽しかった。



②こだわりの日南トマト栽培視察

棚木ファームのトマトハウスで「桃太郎」「れいか」の栽培の視察をした後、収穫体験、もぎ取りトマトの丸かじりをしてこだわりの味を堪能しました。



参加者の声
・もぎ取りトマトがおいしかった。
・日野川の水でできたトマトと知ってさらにおいしく感じた。
・大きなトマト収穫体験楽しかった。



③若杉山探訪

日南町豊栄にある若杉山に向かって上る林道を散策しました。

林道と平行して流れる若杉川の滝など魅力的風景と林道沿いに生える植物、野鳥など自然観察も行い、日野川の支流の自然を堪能しました。



参加者の声
・若杉川がとっても起伏に富んできれい。
・森林の匂いがして、リラックスでき気持ちよかった。
・貴重な植物、チョウが見られて貴重な体験ができました。



日野川散歩

日野川支流の周辺で見られる自然や動植物などを会員の皆様へお届けするコーナーです。<今回は若杉川周辺です。>

若杉川周辺散策

若杉山は、日南町豊栄に位置し尾根を境に新見市と接しています。山を源に若杉川が形成され、美しい溪流を作り上げています。

- 若杉地区の民家を過ぎると奥の方に広場があり、ここに駐車して歩きます。
- 若杉川は九塚川、石見川を経て日野川に合流します。
- 水量も多く、流れの音や動植物に癒されながらゆっくりと散策してみたいかがでしょうか。



広場から2kmほど進むと空が広がり深呼吸したくなります。



これは川ではなく林道です。雨が流れ込んでいますが、水の中を歩くのも楽しいです。



歩き始めは紅葉に染まり、美しいです。落ち葉を踏みながら歩くのも楽しいです。

若杉川

小さな滝のようになっている場所もいくつかあります。

飲めそうなくらい澄んだ水が流れています。この川の水で素麺をゆでて食べたことがあります。美味しかったです。



橋の向こうに見える流れ



《広場》

若杉地区

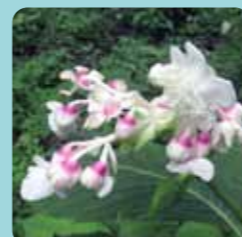
広場から、歩き始めると右側に橋が見えますが、渡らずに直進します。



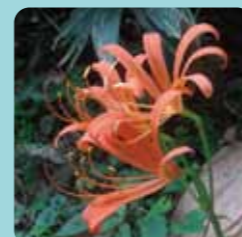
九塚川

豊栄地区

若杉川周辺で見られる動植物



ギンバイソウ



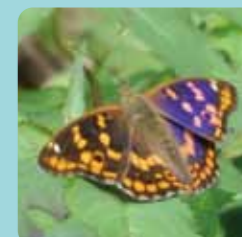
オオキツネノカミソリ



ツリフネソウ



カジカガエル



コムラサキ

会員の部屋

日野川の源流と流域を守る会の会員を紹介します。

「日野川源流へ行きたい」 門脇 邦子



私が「日野川の源流と流域を守る会」に入会したのは、生まれてこの方お世話になっている日野川の水へ「お陰様、これからもよろしく」と言うために一度は源流に行きたいと思っていたからですが、活動に参加し始めたのはつい最近のこと。「春の山菜を楽しむ会」が最初です。

なかなか当初の志が果たせないでいたところ「都合山たたら散策ツアー」に参加した時のことです。2週間ほど前に吹き荒れた台風24号のため、道が荒れて足元の悪い箇所などがあるので気を付けてと注意がありました。が、山歩きは全くの素人の私は秋日和の下のんびりテクテク歩いていくと、なんと行く手にはあるはずの橋が「ない!」のです。私の履き物はただのスニーカー。とても、川は渡れません。スタッフの方におんぶして頂いて向こう岸へ。「準備悪くてすいません。今度はちゃんと装備して来ますから」と平謝り。

早速、登山靴等一式を揃え、心は源流へ飛んでいます。悪天候やまさかのコロナ禍で源流行きはおあずけのまま。日野川源流に早く行きたいな!

「未来へつなごう おいしい水と日野川流域憲章」 米子市水道局

米子市水道局は、米子市、境港市、日吉津村にお住いの約18万人のお客さまにご利用いただく水道事業体です。供給する水道の原水は、すべて大山山麓や日野川流域の豊かな自然にはぐくまれた豊富な地下水を利用して、おいしい水の街とも全国に知られています。安全・安心な水道を未来へと継承していくため、これまで日野川一斉清掃への参加など流域の諸団体と連携した環境保全活動にも取り組んでまいりました。



環境フェスタ
鮎のつかみ取りの様子

平成30年からは、本会のご協力で「水道☆環境フェスタ in YONAGO」を開催しており、鮎のつかみどりなど楽しみながら環境について学んでいただけるイベントとしてご好評をいただいております。本年はコロナ禍により中止しましたが、来年以降開催の際はホームページ等で周知しますので、ぜひご家族連れでお立ち寄りいただきますようご案内いたします。

「元気で帰って来いよ」 日野川水系漁業協同組合

日野川の初夏といえば、なんと言っても太公望期待の鮎釣りです。鮎は香魚とも呼ばれ、塩焼きにすると独特の香気を味わうことができる魚として人気ですが、その鮎に近年異変が起きています。



稚鮎の放流の様子

鮎は1年魚で、秋に川の下流（日野川では王子堰堤付近）に産卵。ふ化した仔魚はすぐに海に下り、翌年の春（3～5月）にかけて、再び川を遡上してくるのですが、その遡上してくるはずの稚魚が、あまり帰ってこないのです（最盛期400万尾、現在2万尾）。

私たち日野川水系漁業協同組合は、産卵場の整備等、大学の先生の指導の下、先進的な取り組みをしています。

しかし、何分海の中の出来事までは手の付けようもなく、目に見える成果はありません。

他の河川では、何年も遡上が芳しくなかったのに、急に回復した例も多くあります。

漁協としては、川で出来ることは全てやりつくして、来年の春、川を埋め尽くさんばかりの稚鮎たちが遡上してくることを心待ちにしているところです。

【速報】日野川フォトコンテスト2020審査結果

「日野川の流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう」をテーマに日野川フォトコンテストを開催しました。今回は新設したスマホ部門からも多くの応募があり、11月24日に開催された審査会において次のとおり、入賞作品が決まりましたので紹介します。

【一般部門】

👑 グランプリ



「静かな夜」 小島 憲二

【スマホ部門】

👑 グランプリ



「深山溪流 瞬の光芒」 月本 勝稔



🥈 金賞 「夕焼けに包まれて!!」 真砂 昇平



🥈 金賞 「初めての川遊び」 榎原 省吾



🥈 銀賞 「河川敷の朝 晩夏」 土井垣 伸治



🥈 銀賞 「風を感じる散歩」 長澤 寛子

日野川フォトコンテスト作品展

日野川の清流、流域の自然の美しさ、流域に息づく生活や伝統。私たちの誇りである日野川の素晴らしさを伝えるため、日野川の源流や流域の風景、歴史文化などをテーマに行った「日野川フォトコンテスト」の令和元年入賞作品を中心とした巡回展示を行いました。

7月30日～8月12日 米子市児童文化センター
9月3日～9月22日 鳥取県立大山自然歴史館
9月29日～10月14日 日南町役場
10月16日～10月25日 米子市立図書館



米子市児童文化センター



鳥取県立大山自然歴史館



日南町役場



米子市立図書館

日野川の源流と流域を守る会からのご案内

【会員の皆様へ】

令和3年日野川の源流と流域を守る会総会・講演会の中止について

日頃から、日野川の源流と流域を守る会の運営に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和3年総会・講演会については、国内の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、感染防止の観点から中止し、総会については書面決議で行う予定です。

何卒、ご理解の程、よろしく申し上げます。

令和3年分の会費納入について

同封の払込用紙により、最寄りの金融機関（山陰合同銀行、鳥取銀行、JA鳥取西部）の最寄りの支店（支所）の窓口で2021年1月末までにお支払いいただきますようお願いいたします。

※年会費は法人・団体1口5,000円、個人は1口1,000円です。（振込手数料は無料）

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会